

# 通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・ グローバル好配当株α (毎月分配型)

米ドル・コース  
ブラジル・リアル・コース  
通貨セレクト・コース

第102期 (決算日 2023年12月21日)  
第103期 (決算日 2024年 1月22日)  
第104期 (決算日 2024年 2月21日)  
第105期 (決算日 2024年 3月21日)  
第106期 (決算日 2024年 4月22日)  
第107期 (決算日 2024年 5月21日)

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

◇SKU0568120240521◇

<5681>  
<5682>  
<5683>

# 通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・ グローバル好配当株α（毎月分配型） 米ドル・コース

&lt;5681&gt;

## 追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：G好配当α米

第102期	2023年12月21日決算	第105期	2024年3月21日決算
第103期	2024年1月22日決算	第106期	2024年4月22日決算
第104期	2024年2月21日決算	第107期	2024年5月21日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、安定的な配当と今後の増配が期待できる世界の株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第107期末	基準価額	11,567円
	純資産総額	227百万円
第102期～第107期	騰落率	20.2%
	分配金合計	240円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00(営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

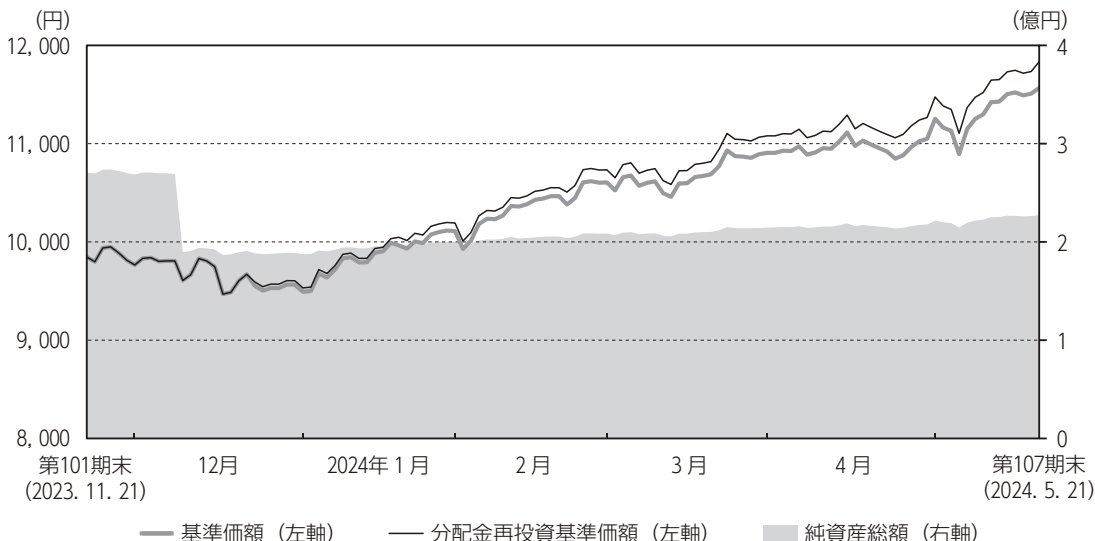
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

第102期首：9,846円

第107期末：11,567円（既払分配金240円）

騰落率：20.2%（分配金再投資ベース）

### 基準価額の主な変動要因

為替相場で円安米ドル高が進行したことや、世界株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第102期～第107期 (2023. 11. 22～2024. 5. 21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	67円	0.645%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,410円です。
(投 信 会 社)	(20)	(0.191)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(46)	(0.437)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	67	0.648	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

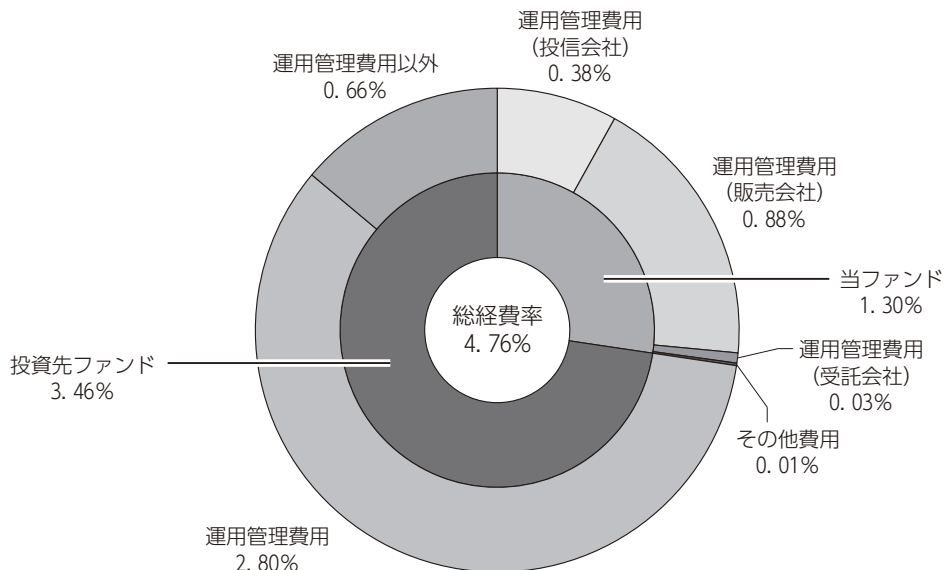
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は4.76%です。



総経費率（① + ② + ③）	4.76%
①当ファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	2.80%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.66%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

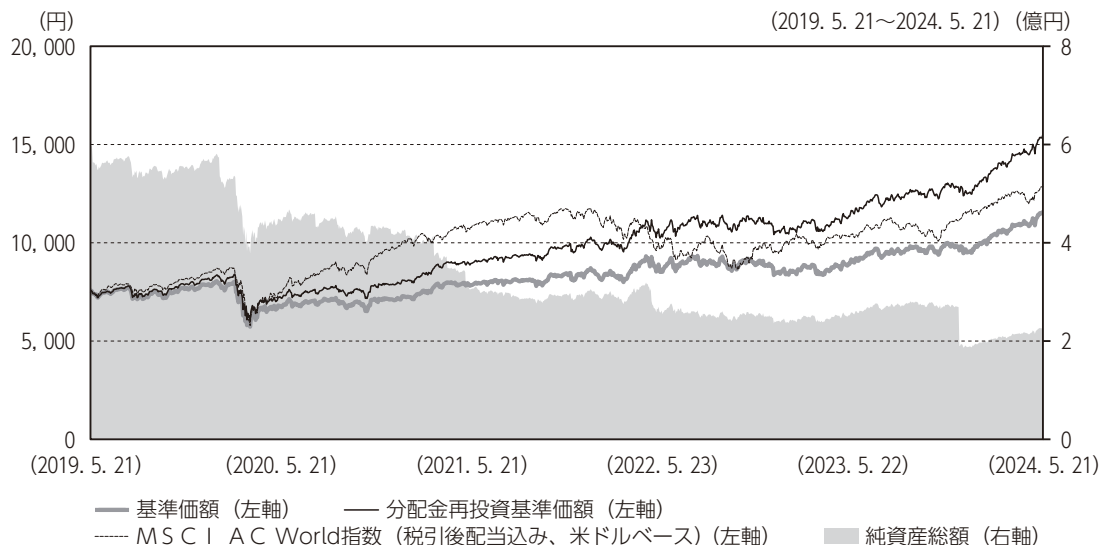
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年5月21日の基準価額をもとに指数化したものです。

\*参考指数はM S C I A C World指数 (税引後配当込み、米ドルベース) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2019年5月21日 期初	2020年5月21日 決算日	2021年5月21日 決算日	2022年5月23日 決算日	2023年5月22日 決算日	2024年5月21日 決算日
基準価額 (円)	7,491	6,793	7,839	8,544	9,116	11,567
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	480	480	480	480	480
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△3.2	23.3	15.5	12.6	33.1
M S C I A C World指数 (税引後配当込み、米ドルベース) 騰落率 (%)	—	0.6	43.1	△9.9	7.5	23.3
純資産総額 (百万円)	590	447	305	258	257	227

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) M S C I A C World指数 (税引後配当込み、米ドルベース) 騰落率は、M S C I Inc. (「M S C I」) の承諾を得て、同指数の原データをもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。M S C I A C World指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、M S C I が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はM S C I に帰属します。またM S C I は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、M S C I によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、M S C I は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。

[ <https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html> ]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

（2023. 11. 22 ～ 2024. 5. 21）

### ■世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首から2023年末にかけて、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたことを受けて利下げ観測が高まったことなどが好感され、上昇しました。2024年1月以降も、インフレ率の鈍化傾向が継続したことやA I（人工知能）関連の半導体関連企業が良好な決算を発表したこと、製造業の景況感が改善したことなどが好感され、続伸しました。4月に入ると、米国の利下げ開始の後ずれ観測や半導体関連企業の予想を下回る決算発表などを受けて下落する場面も見られたものの、中東情勢への懸念の後退や米国長期金利の低下、米国景気への楽観論などを背景に、ハイテク株主導で当作成期末にかけて大きく上昇しました。

### ■為替相場

米ドルは対円で上昇（円安）しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首より2023年末にかけて、日銀による政策修正や米国金利の大幅な低下を受けて下落（円高）しました。しかし2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安米ドル高に転じました。その後も、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調が継続しました。

### ■短期金利市況

米国は、政策金利の誘導目標レンジを5. 25～5. 50%で据え置きました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

今後も、「エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）」と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」に投資します。また、「エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラストーミレーアセット・グローバル・ハイ・ディヴィデンド・エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）

### ■エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）

今後も、配当成長、フリーキャッシュフロー、株価バリュエーション、企業の財務体質などに着目した運用を行ってまいります。また、株主還元に積極的な企業へ注目が集まる中、配当とともに自社株買いを通じてEPS（1株当たり利益）やROE（株主資本利益率）の向上が期待できる銘柄にも注目していきます。カバードコール戦略においては、株価の動きやボラティリティの変化に合わせてポートフォリオを構築し、オプションプレミアム（※1）の確保をめざしてまいります。

また、原資産通貨（※2）売り／米ドル買いの為替取引を行います。

※1 オプションプレミアムとは、オプションの買い手が売り手に支払う対価をいいます。

※2 原資産通貨とは、保有資産の表示通貨をいいます。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

（2023. 11. 22 ~ 2024. 5. 21）

### ■当ファンド

当ファンドは、「エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）」と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

### ■エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）

個別銘柄では、パフォーマンスが相対的に良好であった ZIJIN MINING GROUP CO（中国、素材）や COSTCO WHOLESALE（米国、生活必需品）の保有などがプラス要因となりました。



カバードコール戦略においては、株価の動きやボラティリティの変化に合わせてポートフォリオを構築し、オプションプレミアムの確保をめざしました。

また、原資産通貨売り／米ドル買いの為替取引を行いました。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

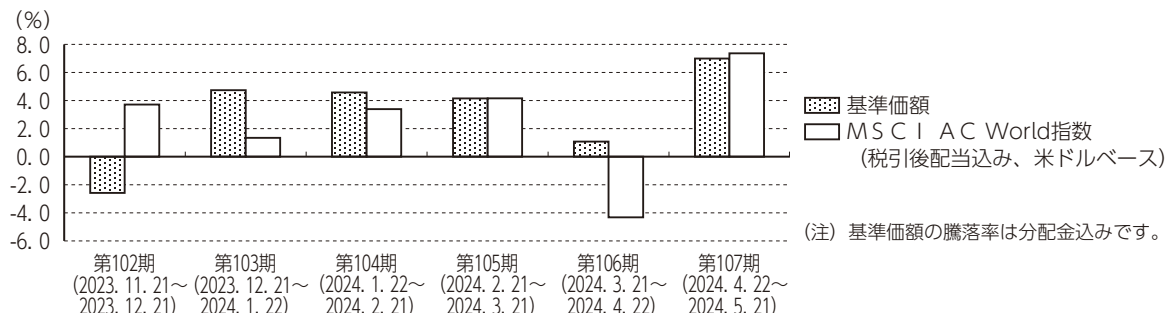
流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。

参考指数は、世界株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
	2023年11月22日 ～2023年12月21日	2023年12月22日 ～2024年1月22日	2024年1月23日 ～2024年2月21日	2024年2月22日 ～2024年3月21日	2024年3月22日 ～2024年4月22日	2024年4月23日 ～2024年5月21日
当期分配金(税込み) (円)	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率 (%)	0.42	0.40	0.38	0.37	0.37	0.34
当期の収益 (円)	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	2,629	2,656	2,681	2,718	2,747	2,782

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 51.90円	✓ 66.66円	✓ 65.25円	✓ 77.26円	✓ 68.94円	✓ 74.41円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	216.62	219.75	222.78	225.62	228.41	231.20
(d) 分配準備積立金	2,401.23	2,410.02	2,433.66	2,456.08	2,490.57	2,516.74
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,669.76	2,696.44	2,721.70	2,758.97	2,787.93	2,822.36
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,629.76	2,656.44	2,681.70	2,718.97	2,747.93	2,782.36

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、「エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）」と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」に投資します。また、「エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）

今後も、配当成長、フリーキャッシュフロー、株価バリュエーション、企業の財務体質などに着目した運用を行ってまいります。また、株主還元に積極的な企業へ注目が集まる中、配当とともに自社株買いを通じてEPS（1株当たり利益）やROE（株主資本利益率）の向上が期待できる銘柄にも注目していきます。カバードコール戦略においては、株価の動きやボラティリティの変化に合わせてポートフォリオを構築し、オプションプレミアムの確保をめざしてまいります。

また、原資産通貨売り／米ドル買いの為替取引を行います。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



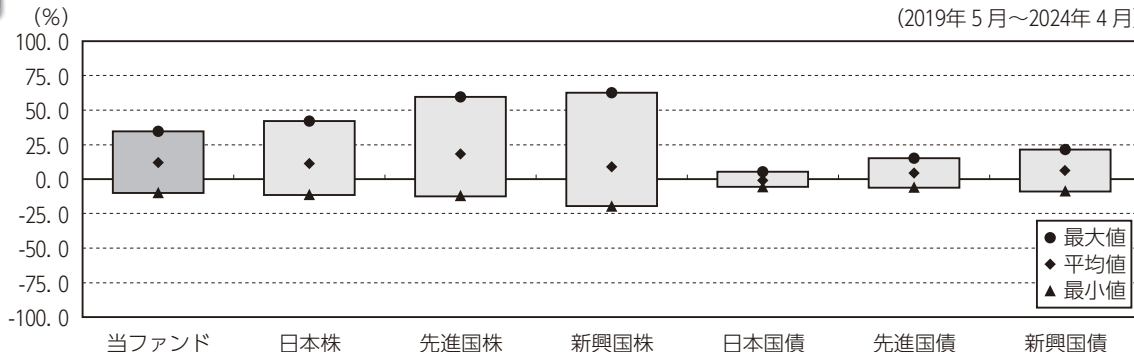
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2015年5月22日～2025年5月21日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主投資対象	当ファンド	イ、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーミレーアセット・グローバル・ハイ・ディヴィデンド・エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）」（以下「エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	<p>①主として、エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）の受益証券を通じて、安定的な配当と今後の増配が期待できる世界の株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。</p> <p>②当ファンドは、エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。</p> <p>③エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）では、原資産通貨（※）売り／米ドル買いの為替取引を活用して、米ドルへの投資成果の獲得をめざします。 ※原資産通貨とは、保有資産の表示通貨をいいます。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。</p> <p>②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2019年5月～2024年4月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	34.7	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
平均値	12.1	11.4	18.3	8.9	△ 0.9	4.5	6.3
最小値	△ 9.8	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドに基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。〔<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>〕●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



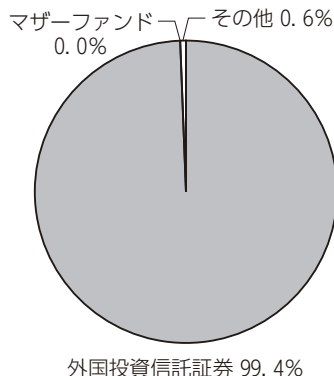
## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

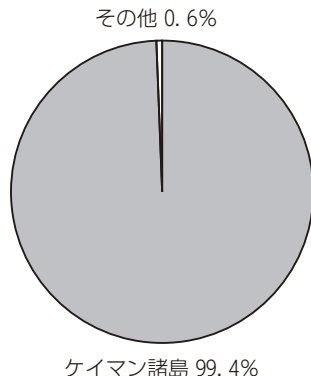
#### 組入ファンド等

	比 率
エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）	99.4%
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	0.0
その他	0.6

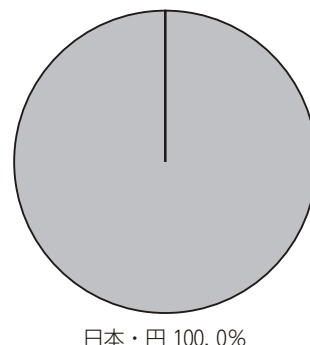
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1) 上記データは2024年5月21日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

\*当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

### 純資産等

項 目	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末
	2023年12月21日	2024年1月22日	2024年2月21日	2024年3月21日	2024年4月22日	2024年5月21日
純資産総額	188,502,133円	196,893,269円	203,902,394円	211,829,728円	213,551,134円	227,395,601円
受益権総口数	197,338,138口	197,592,973口	196,415,123口	196,641,967口	196,860,519口	196,585,166口
1万口当り基準価額	9,552円	9,965円	10,381円	10,772円	10,848円	11,567円

\*当作成期間（第102期～第107期）中における追加設定元本額は1,672,401円、同解約元本額は79,831,848円です。

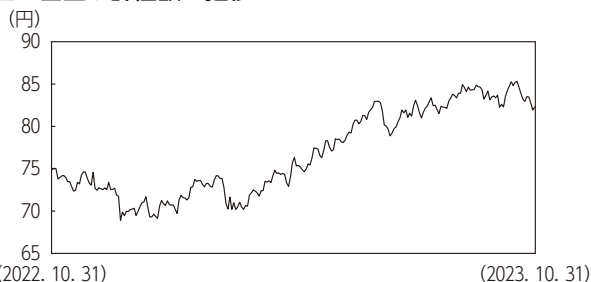
\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

## ◆ エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）

（作成対象期間 2022年11月1日～2023年10月31日） ※直近で入手可能な Financial Statements 作成期間です。

## ■ 1口当り評価額の推移



(注1) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。  
 (注2) 国内の営業日の評価額を記載しています。

## ■ 1口当りの費用の明細

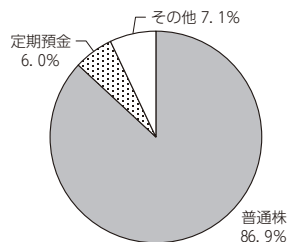
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

## ■ 組入上位銘柄

銘柄名	比率
Microsoft Corp.	7.6%
Apple, Inc.	6.8
Zijin Mining Group Co., Ltd. Class H	2.9
Visa, Inc. Class A	2.7
Mastercard, Inc. Class A	2.7
Eli Lilly & Co.	2.1
L'Oreal S. A.	2.1
ASML Holding NV	2.0
Nestle S. A.	2.0
Shell PLC	1.8
組入銘柄数	63銘柄

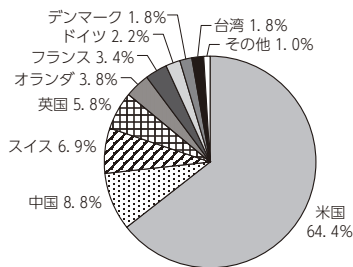
(注) 比率は純資産に対する比率です。

## ■ 資産別配分



(注1) 比率は純資産に対する比率です。  
 (注2) 「その他」は現金その他の資産から負債を差し引いた部分です。

## ■ 国別配分



(注) 比率は普通株合計に対する比率です。

## ■ 通貨別配分

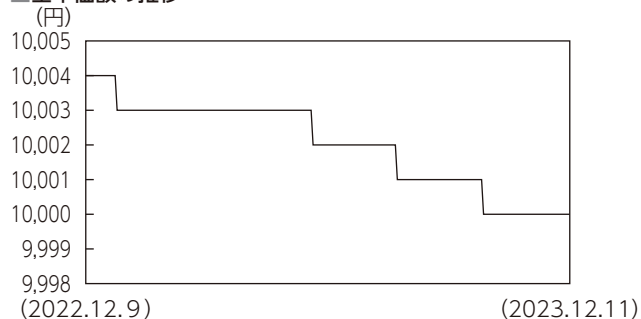
当ファンドの投資対象とする資産の通貨別配分のデータは取得できないため、記載しておりません。

(注) 投資対象とする資産の通貨売り／米ドル買いの為替取引を行っています。

- \* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。
- \* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「エクイティ・アルファ・ファンド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。
- \* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## ◆ダイワ・マネースtock・マザーファンド（作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日）

## ■基準価額の推移



## ■1万口当りの費用の明細

項	目	
売買委託手数料		-円
有価証券取引税		-
その他費用		-
合	計	-

## ■組入資産

2023年12月11日現在、有価証券等の組み入れはありません。

(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。



# 通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・ グローバル好配当株α（毎月分配型） ブラジル・リアル・コース

&lt;5682&gt;

追加型投信／内外／株式  
日経新聞掲載名：G好配当αレ

第102期	2023年12月21日決算	第105期	2024年3月21日決算
第103期	2024年1月22日決算	第106期	2024年4月22日決算
第104期	2024年2月21日決算	第107期	2024年5月21日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、安定的な配当と今後の増配が期待できる世界の株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第107期末	基準価額	5,982円
	純資産総額	434百万円
第102期～第107期	騰落率	16.5%
	分配金合計	180円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00(営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

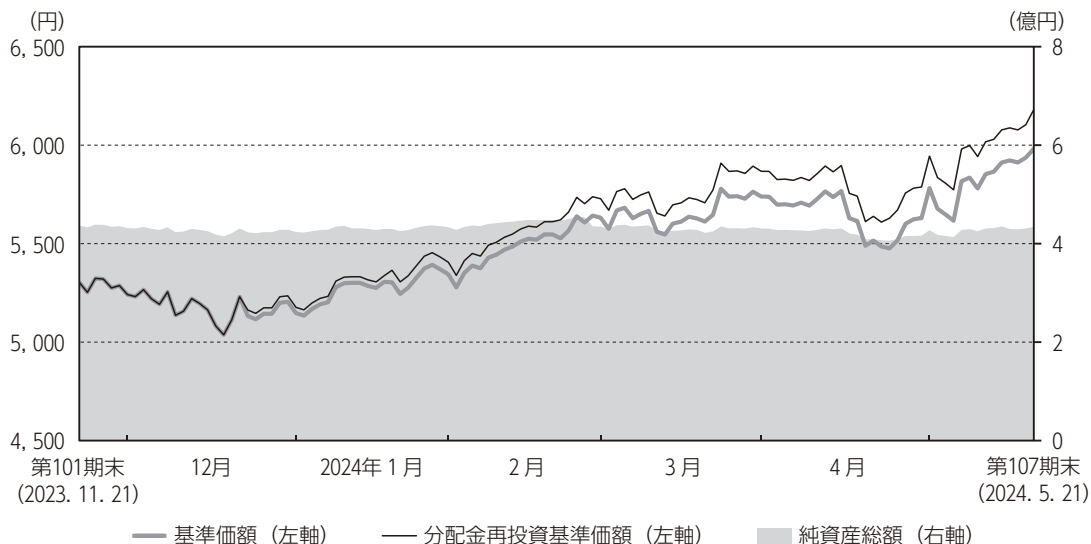
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

第102期首：5,303円

第107期末：5,982円（既払分配金180円）

騰落率：16.5%（分配金再投資ベース）

### 基準価額の主な変動要因

為替相場でブラジル・リアルは対円でおおむね横ばいとなったものの、世界株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第102期～第107期 (2023. 11. 22～2024. 5. 21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	35円	0.644%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,486円です。
(投 信 会 社)	(10)	(0.191)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(24)	(0.437)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	36	0.647	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

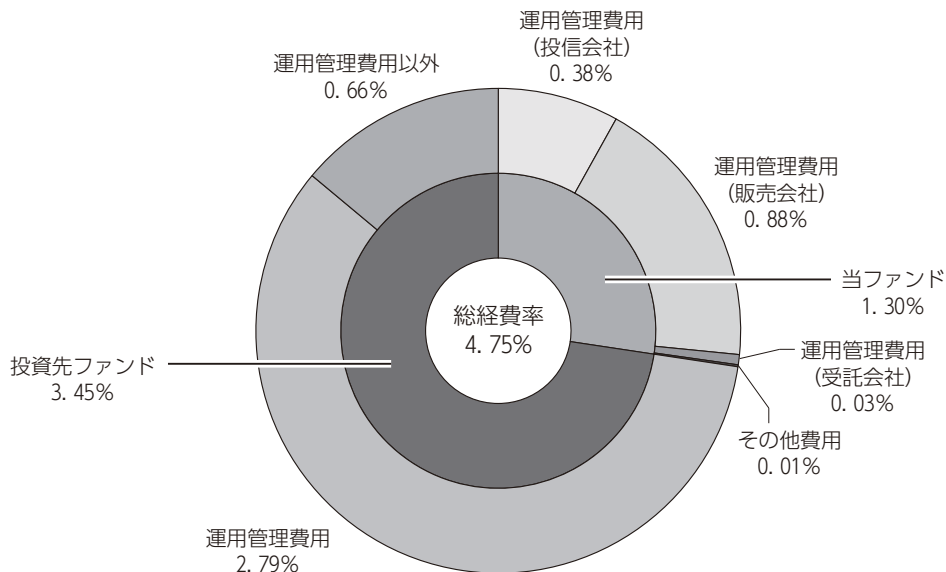
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は4.75%です。



総経費率（① + ② + ③）	4.75%
①当ファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	2.79%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.66%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

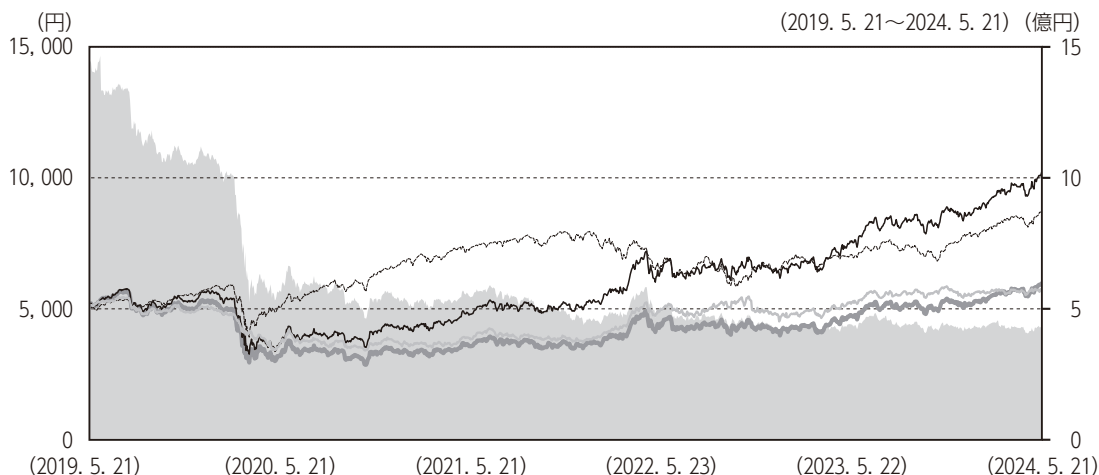
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



— 基準価額（左軸） — 分配金再投資基準価額（左軸） - - - M S C I A C World指数（税引後配当込み、米ドルベース）（左軸）  
— ブラジル・リアル為替レート（対円）（左軸） ■ 純資産総額（右軸）

（注）分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年5月21日の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 参考指数はM S C I A C World指数（税引後配当込み、米ドルベース）およびブラジル・リアル為替レート（対円）です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2019年5月21日 期初	2020年5月21日 決算日	2021年5月21日 決算日	2022年5月23日 決算日	2023年5月22日 決算日	2024年5月21日 決算日
基準価額 (円)	5,070	3,186	3,578	4,336	4,722	5,982
期間分配金合計（税込み） (円)	—	600	540	360	360	360
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△28.2	31.9	33.1	18.3	35.6
M S C I A C World指数（税引後配当込み、米ドルベース）騰落率 (%)	—	0.6	43.1	△9.9	7.5	23.3
ブラジル・リアル為替レート（対円）騰落率 (%)	—	△29.6	8.9	27.1	5.2	11.3
純資産総額 (百万円)	1,424	562	547	490	438	434

（注1）比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

（注2）M S C I A C World指数（税引後配当込み、米ドルベース）騰落率は、M S C I Inc.（「M S C I」）の承諾を得て、同指数の原データをもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。M S C I A C World指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、M S C Iが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はM S C Iに帰属します。またM S C Iは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、M S C Iによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、M S C Iは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。

[ <https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html> ]

（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

（注4）為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

（注5）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

（2023. 11. 22 ～ 2024. 5. 21）

### ■世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首から2023年末にかけて、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたことを受けて利下げ観測が高まったことなどが好感され、上昇しました。2024年1月以降も、インフレ率の鈍化傾向が継続したことやA I（人工知能）関連の半導体関連企業が良好な決算を発表したこと、製造業の景況感が改善したことなどが好感され、続伸しました。4月に入ると、米国の利下げ開始の後ずれ観測や半導体関連企業の予想を下回る決算発表などを受けて下落する場面も見られたものの、中東情勢への懸念の後退や米国長期金利の低下、米国景気への楽観論などを背景に、ハイテク株主導で当作成期末にかけて大きく上昇しました。

### ■為替相場

ブラジル・リアルは対円で横ばいとなりました。

ブラジル・リアルの対円為替相場は、日銀がマイナス金利を早期に解除するとの思惑から2023年末にかけて下落（円高）したものの、日銀の副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する見通しと発言したことが円安材料となったことから反発しました。当作成期末にかけては、対米ドルで円安が進んだものの、ブラジルの政治不安やブラジル中央銀行の利下げの実施などからブラジル・リアルが対米ドルで下落したため、ブラジル・リアルは対円でおおむね横ばいとなりました。

### ■短期金利市況

ブラジル中央銀行は、当作成期中に政策金利を12. 25%から10. 50%に段階的に引き下げました。これを受けてブラジルの短期金利は低下基調となりました。

米国では、政策金利の誘導目標レンジを5. 25～5. 50%で据え置きました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

今後も、「エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」に投資します。また、「エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラストーミレーアセット・グローバル・ハイ・ディヴィデンド・エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

### ■エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

今後も、配当成長、フリーキャッシュフロー、株価バリュエーション、企業の財務体質などに着目した運用を行ってまいります。また、株主還元積極的に企業へ注目が集まる中、配当とともに自社株買いを通じてEPS（1株当たり利益）やROE（株主資本利益率）の向上が期待できる銘柄にも注目していきます。カバードコール戦略においては、株価の動きやボラティリティの変化に合わせてポートフォリオを構築し、オプションプレミアム（※1）の確保をめざしてまいります。

また、原資産通貨（※2）売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行います。

※1 オプションプレミアムとは、オプションの買い手が売り手に支払う対価をいいます。

※2 原資産通貨とは、保有資産の表示通貨をいいます。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

（2023. 11. 22 ~ 2024. 5. 21）

### ■当ファンド

当ファンドは、「エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」への投資割合は高位に維持することをめざしました。

## ■エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

個別銘柄では、パフォーマンスが相対的に良好であった ZIJIN MINING GROUP CO（中国、素材）や COSTCO WHOLESALE（米国、生活必需品）の保有などがプラス要因となりました。

カバードコール戦略においては、株価の動きやボラティリティの変化に合わせてポートフォリオを構築し、オプションプレミアムの確保をめざしました。

また、原資産通貨売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行いました。

## ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

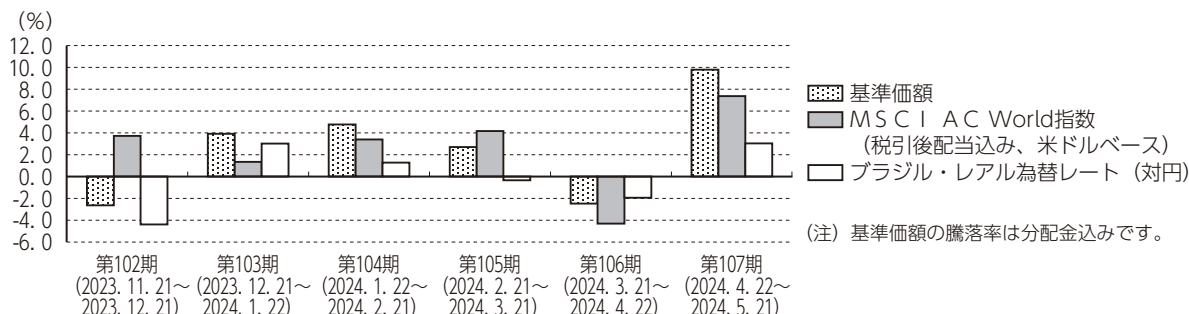
流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。

参考指数は世界株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。





## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
	2023年11月22日 ～2023年12月21日	2023年12月22日 ～2024年1月22日	2024年1月23日 ～2024年2月21日	2024年2月22日 ～2024年3月21日	2024年3月22日 ～2024年4月22日	2024年4月23日 ～2024年5月21日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率 (%)	0.58	0.56	0.54	0.53	0.54	0.50
当期の収益 (円)	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,602	1,625	1,648	1,677	1,699	1,727

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 49.76円	✓ 52.75円	✓ 53.19円	✓ 59.01円	✓ 52.47円	✓ 57.15円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	150.15	151.37	152.24	153.10	154.04	155.02
(d) 分配準備積立金	1,432.52	1,451.08	1,472.96	1,495.30	1,523.38	1,544.87
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,632.45	1,655.21	1,678.41	1,707.43	1,729.90	1,757.05
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,602.45	1,625.21	1,648.41	1,677.43	1,699.90	1,727.05

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、「エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」に投資します。また、「エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

今後も、配当成長、フリーキャッシュフロー、株価バリュエーション、企業の財務体質などに着目した運用を行ってまいります。また、株主還元積極的に積極的な企業へ注目が集まる中、配当とともに自社株買いを通じてEPS（1株当り利益）やROE（株主資本利益率）の向上が期待できる銘柄にも注目していきます。カバードコール戦略においては、株価の動きやボラティリティの変化に合わせてポートフォリオを構築し、オプションプレミアムの確保をめざしてまいります。

また、原資産通貨売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行います。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

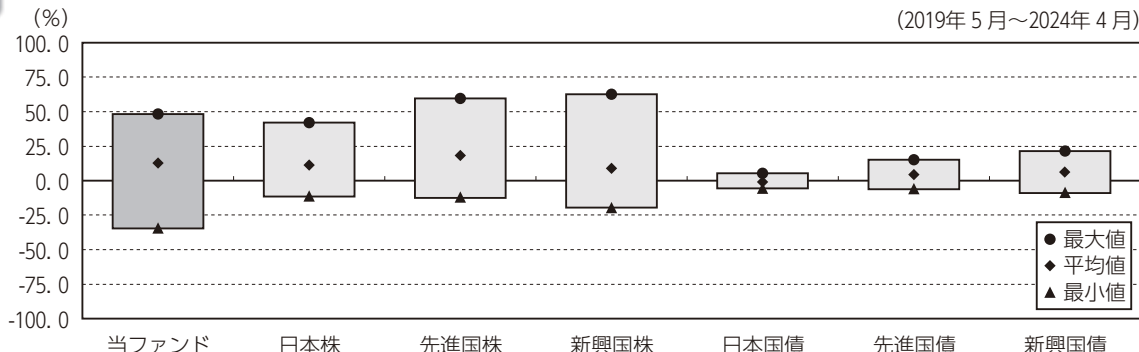


## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2015年5月22日～2025年5月21日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。	
主投資対象	当ファンド	イ、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーミレーアセット・グローバル・ハイ・ディヴィデンド・エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」（以下「エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	<p>①主として、エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）の受益証券を通じて、安定的な配当と今後の増配が期待できる世界の株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。</p> <p>②当ファンドは、エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。</p> <p>③エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）では、原資産通貨（※）売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルへの投資成果の獲得をめざします。</p> <p>※原資産通貨とは、保有資産の表示通貨をいいます。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。</p> <p>②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	48.4	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
平均値	12.8	11.4	18.3	8.9	△ 0.9	4.5	6.3
最小値	△ 34.5	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる商標または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる商標または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[ <https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html> ] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



# ファンドデータ

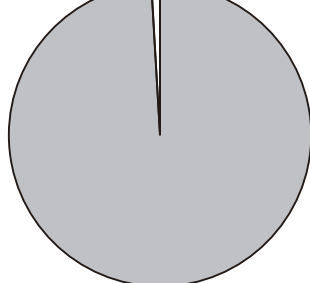
## 当ファンドの組入資産の内容

### 組入ファンド等

	比 率
エクイティ・アルファ・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)	99.1%
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	0.0
その他	0.9

### 資産別配分

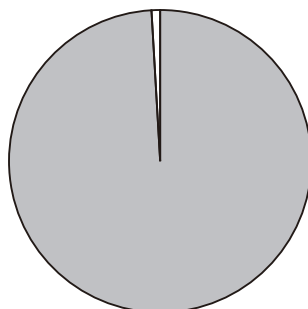
マザーファンド 0.0%  
その他 0.9%



外国投資信託証券 99.1%

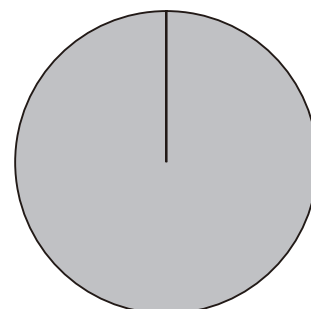
### 国別配分

その他 0.9%



ケイマン諸島 99.1%

### 通貨別配分



日本・円 100.0%

(注1) 上記データは2024年5月21日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項 目	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末
	2023年12月21日	2024年1月22日	2024年2月21日	2024年3月21日	2024年4月22日	2024年5月21日
純資産総額	422,873,786円	429,845,578円	446,508,963円	424,643,201円	406,122,963円	434,117,704円
受益権総口数	823,775,609口	810,402,519口	807,881,730口	752,059,361口	741,610,772口	725,730,660口
1万円当り基準価額	5,133円	5,304円	5,527円	5,646円	5,476円	5,982円

\* 当作成期間（第102期～第107期）中における追加設定元本額は3,065,593円、同解約元本額は101,093,329円です。

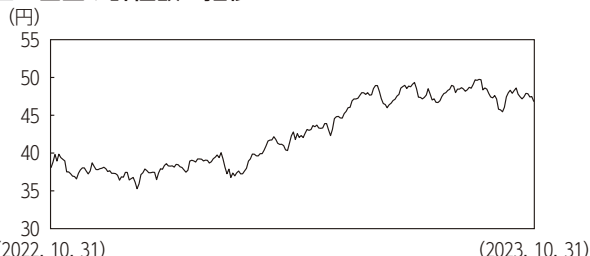
\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

（作成対象期間 2022年11月1日～2023年10月31日）※直近で入手可能な Financial Statements 作成期間です。

#### ■1口当り評価額の推移



(注1) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。

(注2) 国内の営業日の評価額を記載しています。

#### ■1口当りの費用の明細

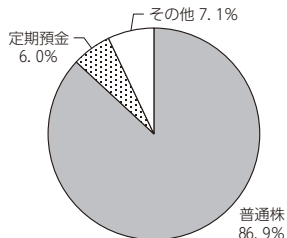
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

#### ■組入上位銘柄

銘柄名	比率
Microsoft Corp.	7.6%
Apple, Inc.	6.8
Zijin Mining Group Co., Ltd. Class H	2.9
Visa, Inc. Class A	2.7
Mastercard, Inc. Class A	2.7
Eli Lilly & Co.	2.1
L'Oreal S. A.	2.1
ASML Holding NV	2.0
Nestle S. A.	2.0
Shell PLC	1.8
組入銘柄数	63銘柄

(注) 比率は純資産に対する比率です。

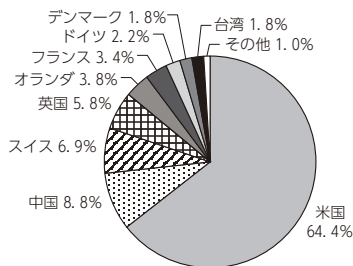
#### ■資産別配分



(注1) 比率は純資産に対する比率です。

(注2) 「その他」は現金その他の資産から負債を差し引いた部分です。

#### ■国別配分



(注) 比率は普通株合計に対する比率です。

#### ■通貨別配分

当ファンドの投資対象とする資産の通貨別配分のデータは取得できないため、記載しておりません。

(注) 投資対象とする資産の通貨売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行っています。

\* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

\* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「エクイティ・アルファ・ファンド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワ・マネースtock・マザーファンド（作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日）

15ページをご参照ください。

# 通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・ グローバル好配当株α（毎月分配型） 通貨セレクト・コース

&lt;5683&gt;

## 追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：G好配当α通

第102期	2023年12月21日決算	第105期	2024年3月21日決算
第103期	2024年1月22日決算	第106期	2024年4月22日決算
第104期	2024年2月21日決算	第107期	2024年5月21日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、安定的な配当と今後の増配が期待できる世界の株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第107期末	基準価額	4,611円
	純資産総額	181百万円
第102期～第107期	騰落率	24.4%
	分配金合計	270円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00(営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

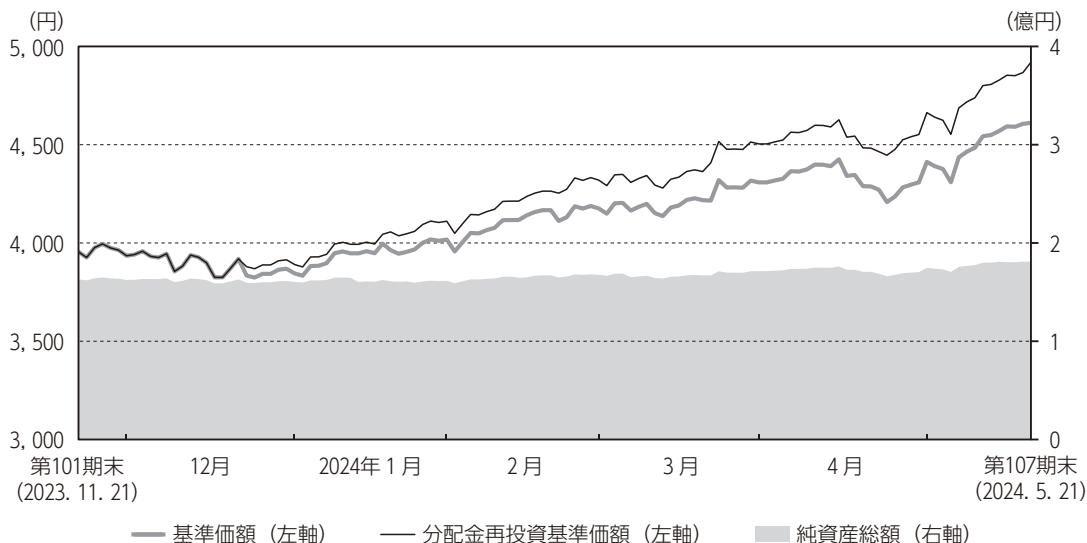
上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択





## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

第102期首：3,955円

第107期末：4,611円（既払分配金270円）

騰落率：24.4%（分配金再投資ベース）

### 基準価額の主な変動要因

為替相場で選定通貨（※）の多くが上昇（円安）したことや世界株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第102期～第107期 (2023. 11. 22～2024. 5. 21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	27円	0.643%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,139円です。
(投 信 会 社)	(8)	(0.191)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(18)	(0.437)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.015)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	27	0.647	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

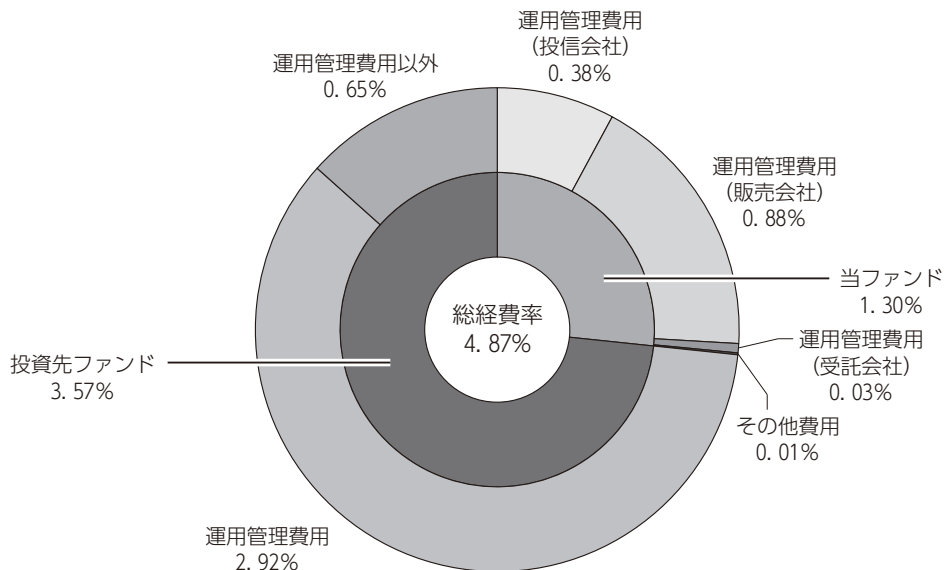
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は4.87%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	4.87%
①当ファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	2.92%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.65%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

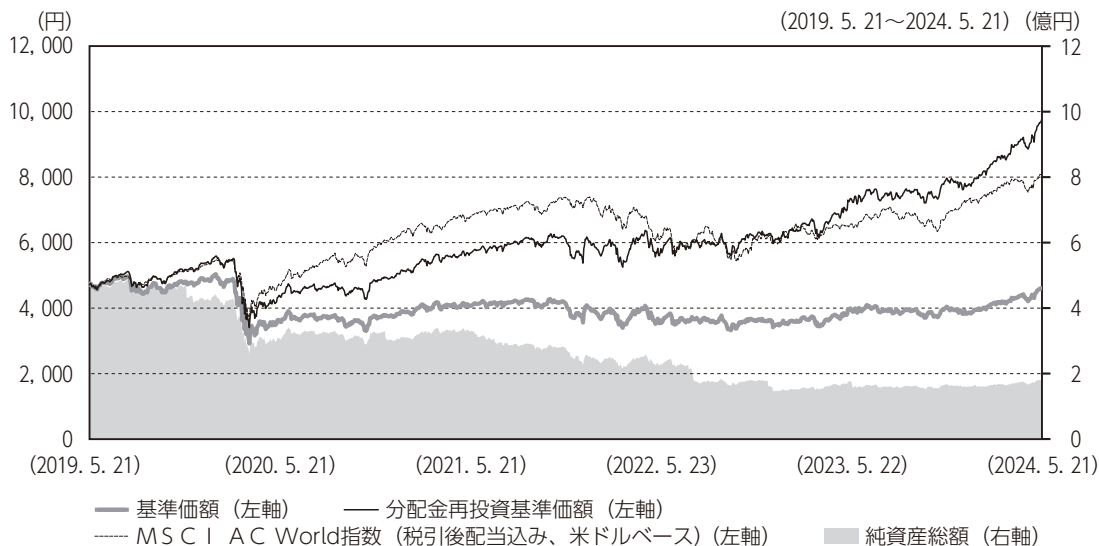
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近 5 年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年5月21日の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 参考指数はM S C I A C World指数 (税引後配当込み、米ドルベース) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2019年5月21日 期初	2020年5月21日 決算日	2021年5月21日 決算日	2022年5月23日 決算日	2023年5月22日 決算日	2024年5月21日 決算日
基準価額 (円)	4,713	3,616	4,064	3,551	3,950	4,611
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	840	540	540	540	540
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△7.0	29.4	0.3	29.1	33.4
M S C I A C World指数 (税引後配当込み、米ドルベース) 騰落率 (%)	—	0.6	43.1	△9.9	7.5	23.3
純資産総額 (百万円)	462	307	329	226	176	181

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) M S C I A C World指数 (税引後配当込み、米ドルベース) 騰落率は、M S C I Inc. (「M S C I」) の承諾を得て、同指数の原データをもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。M S C I A C World指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、M S C I が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はM S C I に帰属します。またM S C I は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、M S C I によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、M S C I は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。

[ <https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html> ]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2023. 11. 22 ~ 2024. 5. 21)

### ■世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首から2023年末にかけて、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたことを受けて利下げ観測が高まったことなどが好感され、上昇しました。2024年1月以降も、インフレ率の鈍化傾向が継続したことやA I（人工知能）関連の半導体関連企業が良好な決算を発表したこと、製造業の景況感が改善したことなどが好感され、続伸しました。4月に入ると、米国の利下げ開始の後ずれ観測や半導体関連企業の予想を下回る決算発表などを受けて下落する場面も見られたものの、中東情勢への懸念の後退や米国長期金利の低下、米国景気への楽観論などを背景に、ハイテク株主導で当作成期末にかけて大きく上昇しました。

### ■為替相場

選定通貨（※）は対円でおおむね上昇しました。

日銀が、大規模な金融緩和を終了した後も緩和的な環境が継続すると見込まれたことが円安要因となり、メキシコ・ペソ、ブラジル・リアル、コロンビア・ペソ、ハンガリー・フォリント、インド・ルピー、南アフリカ・ランド、ルーマニア・レイは対円で上昇しました。一方で、トルコ・リラは対円で下落（円高）しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替ヘッジ取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。当作成期においては、メキシコ・ペソ、トルコ・リラ、ブラジル・リアル、コロンビア・ペソ、ハンガリー・フォリント、インド・ルピー、南アフリカ・ランド、ルーマニア・レイを選定通貨に組み入れました。

### ■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に、米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。

米国では、政策金利の誘導目標レンジを5.25～5.50%で据え置きました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

今後も、「エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」に投資します。また、「エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラストーミレーアセット・グローバル・ハイ・ディヴィデンド・エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）

### ■エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）

今後も、配当成長、フリーキャッシュフロー、株価バリュエーション、企業の財務体質などに着目した運用を行ってまいります。また、株主還元に積極的な企業へ注目が集まる中、配当とともに自社株買いを通じてEPS（1株当たり利益）やROE（株主資本利益率）の向上が期待できる銘柄にも注目していきます。カバードコール戦略においては、株価の動きやボラティリティの変化に合わせてポートフォリオを構築し、オプションプレミアム（※1）の確保をめざしてまいります。

また、原資産通貨（※2）売り／選定通貨買いの為替取引を行います。

※1 オプションプレミアムとは、オプションの買い手が売り手に支払う対価をいいます。

※2 原資産通貨とは、保有資産の表示通貨をいいます。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

（2023. 11. 22～2024. 5. 21）

### ■当ファンド

当ファンドは、「エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）」への投資割合は高位に維持することをめざしました。

### ■エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）

個別銘柄では、パフォーマンスが相対的に良好であった ZIJIN MINING GROUP CO（中国、素材）や COSTCO WHOLESALE（米国、生活必需品）の保有などがプラス要因となりました。

カバードコール戦略においては、株価の動きやボラティリティの変化に合わせてポートフォリオを構築し、オプションプレミアムの確保をめざしました。

また、原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を行いました。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

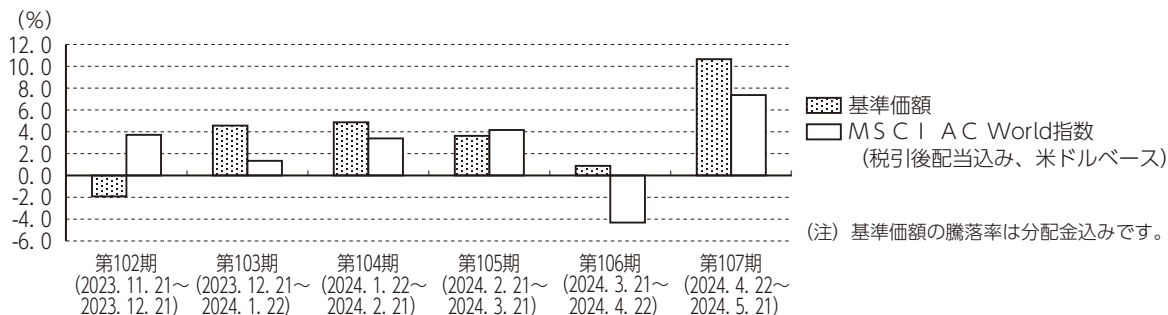
流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。

参考指数は世界株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
	2023年11月22日 ～2023年12月21日	2023年12月22日 ～2024年1月22日	2024年1月23日 ～2024年2月21日	2024年2月22日 ～2024年3月21日	2024年3月22日 ～2024年4月22日	2024年4月23日 ～2024年5月21日
当期分配金(税込み) (円)	45	45	45	45	45	45
対基準価額比率 (%)	1.16	1.12	1.08	1.06	1.06	0.97
当期の収益 (円)	45	45	45	45	45	45
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	840	863	889	924	957	1,002

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 57.87円	✓ 67.97円	✓ 70.50円	✓ 80.20円	✓ 77.98円	✓ 90.09円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	190.66	192.06	198.30	199.35	202.56	204.17
(d) 分配準備積立金	636.79	648.27	665.48	689.93	721.94	753.32
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	885.33	908.31	934.29	969.49	1,002.48	1,047.58
(f) 分配金	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	840.33	863.31	889.29	924.49	957.48	1,002.58

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。





## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、「エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」に投資します。また、「エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）

今後も、配当成長、フリーキャッシュフロー、株価バリュエーション、企業の財務体質などに着目した運用を行ってまいります。また、株主還元積極的に企業へ注目が集まる中、配当とともに自社株買いを通じてEPS（1株当たり利益）やROE（株主資本利益率）の向上が期待できる銘柄にも注目していきます。カバードコール戦略においては、株価の動きやボラティリティの変化に合わせてポートフォリオを構築し、オプションプレミアムの確保をめざしてまいります。

また、原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を行います。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

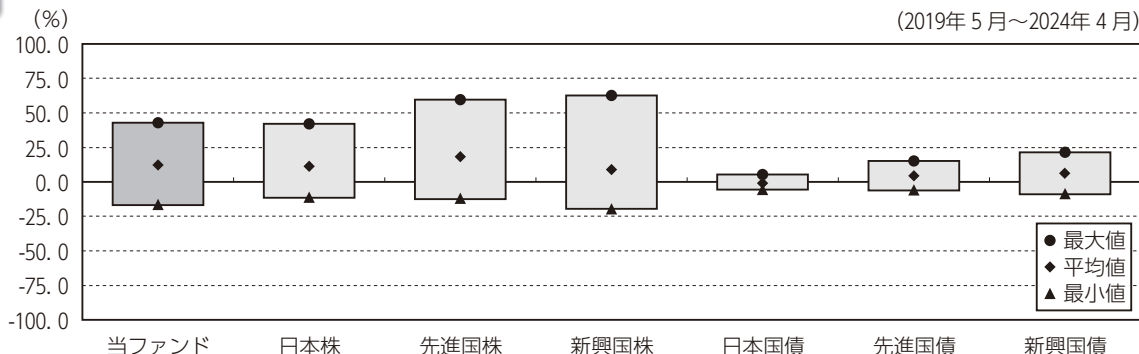


## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2015年5月22日～2025年5月21日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主投資対象	当ファンド	イ、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーミレーアセット・グローバル・ハイ・ディヴィデンド・エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）」（以下「エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	<p>①主として、エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）の受益証券を通じて、安定的な配当と今後の増配が期待できる世界の株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。</p> <p>②当ファンドは、エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。</p> <p>③エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）では、原資産通貨（※1）売り／選定通貨（※2）買いの為替取引を活用して、選定通貨への投資成果の獲得をめざします。</p> <p>※1 原資産通貨とは、保有資産の表示通貨をいいます。</p> <p>※2 当ファンドにおいて、選定通貨とは、投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社が選定した複数の通貨をいいます。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。</p> <p>②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	42.9	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
平均値	12.3	11.4	18.3	8.9	△0.9	4.5	6.3
最小値	△16.6	△11.4	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドに基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



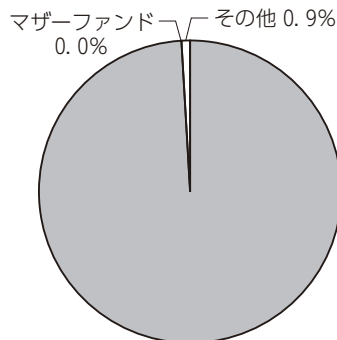
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

### 組入ファンド等

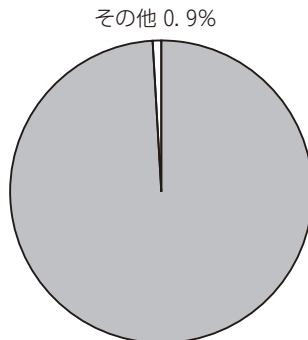
	比 率
エクイティ・アルファ・ファンド (通貨セレクト・クラス)	99.1%
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	0.0
その他	0.9

### 資産別配分



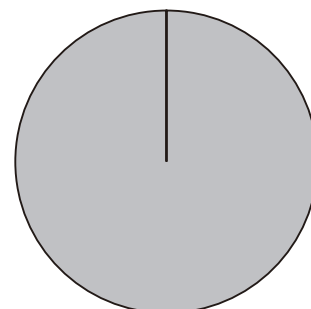
外国投資信託証券 99.1%

### 国別配分



ケイマン諸島 99.1%

### 通貨別配分



日本・円 100.0%

(注1) 上記データは2024年5月21日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

\*当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項 目	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末
	2023年12月21日	2024年1月22日	2024年2月21日	2024年3月21日	2024年4月22日	2024年5月21日
純資産総額	159,482,348円	161,071,981円	164,885,135円	166,992,042円	166,178,824円	181,103,722円
受益権総口数	415,940,898口	406,319,866口	400,978,581口	396,045,682口	394,883,904口	392,745,455口
1万円当り基準価額	3,834円	3,964円	4,112円	4,216円	4,208円	4,611円

\*当作成期間（第102期～第107期）中における追加設定元本額は11,639,878円、同解約元本額は30,821,098円です。

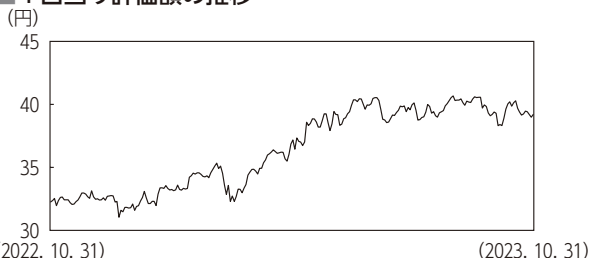
\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）

（作成対象期間 2022年11月1日～2023年10月31日）※直近で入手可能な Financial Statements 作成期間です。

#### ■1口当り評価額の推移



(注1) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。  
(注2) 国内の営業日の評価額を記載しています。

#### ■1口当りの費用の明細

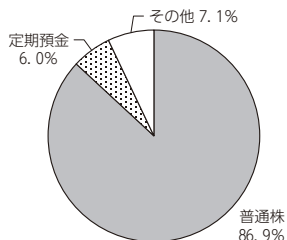
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

#### ■組入上位銘柄

銘柄名	比率
Microsoft Corp.	7.6%
Apple, Inc.	6.8
Zijin Mining Group Co., Ltd. Class H	2.9
Visa, Inc. Class A	2.7
Mastercard, Inc. Class A	2.7
Eli Lilly & Co.	2.1
L'Oreal S. A.	2.1
ASML Holding NV	2.0
Nestle S. A.	2.0
Shell PLC	1.8
組入銘柄数	63銘柄

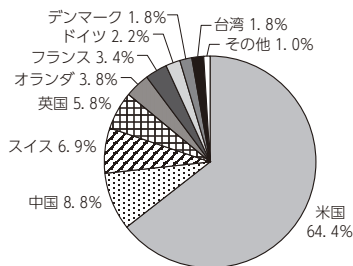
(注) 比率は純資産に対する比率です。

#### ■資産別配分



(注1) 比率は純資産に対する比率です。  
(注2) 「その他」は現金その他の資産から負債を差し引いた部分です。

#### ■国別配分



(注) 比率は普通株合計に対する比率です。

#### ■通貨別配分

当ファンドの投資対象とする資産の通貨別配分のデータは取得できないため、記載しておりません。

(注) 投資対象とする資産の通貨売り／選定通貨買いの為替取引を行っています。

\* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

\* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「エクイティ・アルファ・ファンド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワ・マネースtock・マザーファンド（作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日）

15ページをご参照ください。